

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業「カリキュラム開発拠点校」



文部科学省

事業概要

これまでのスーパーグローバルハイスクール（SGH）事業などの取組の実績を活用

- ◆ 将来、イノベティブなグローバル人材を育成するため、文理両方を学ぶ高校改革と高大接続改革を推進するリーディング・プロジェクト。
- ◆ 高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生により高度な学びを提供する仕組みを構築。
- ◆ グローバルな社会課題研究のカリキュラム開発や研究内容と関連する高校生国際会議の開催。
- ◆ 大学教育の先取り履修などの高度かつ多様な科目内容を生徒個人の興味・関心・特性に応じて、履修可能とする高校生の学習プログラム／コースを開発・実践。

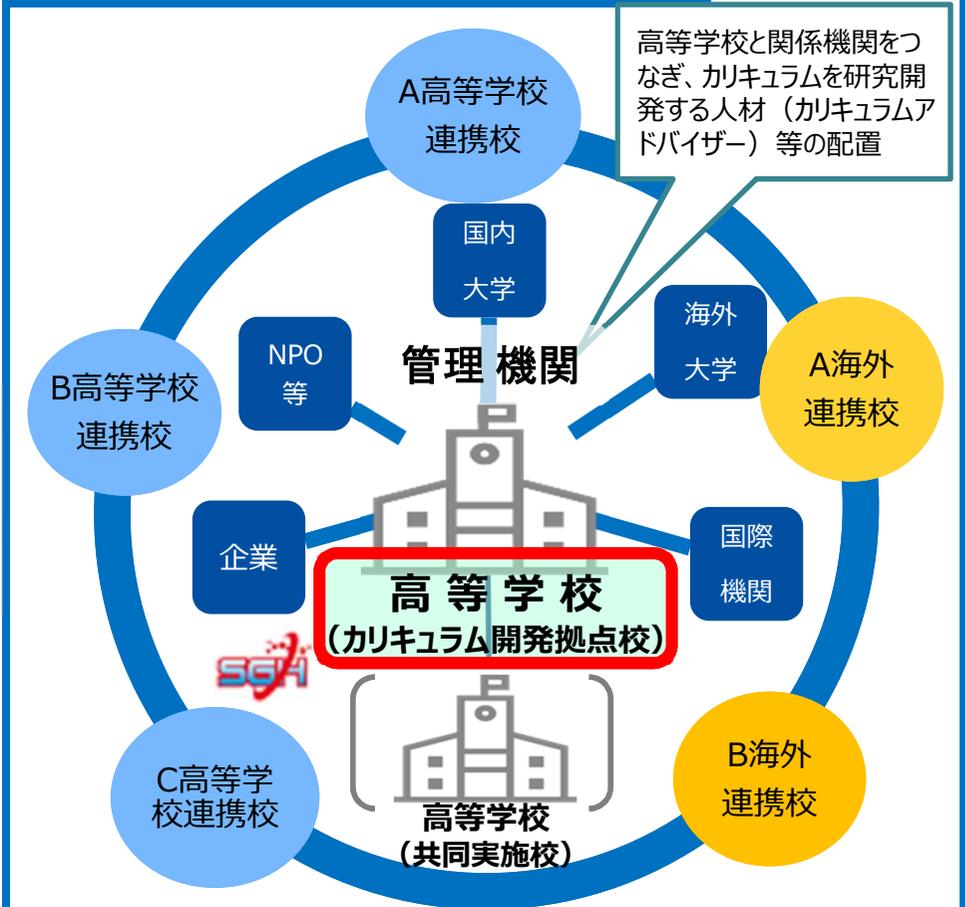


【高校生ESDシンポジウム2018年11月】

上記の取組を実施する「カリキュラム開発拠点校」を文部科学大臣が指定

- 対象学校：国公立高等学校及び中高一貫教育校
- 指定期間：原則3年
- 指定学校数：22校
(R2指定：12校・R元指定：10校)

アドバンスト・ラーニング・ネットワークのイメージ



国際会議の開催等により、プロジェクトが効果的に機能するよう高校間のネットワークを形成

今後5年間ほどでアドバンスト・ラーニング・ネットワークを形成した拠点校を全国に50校程度配置し、将来的にWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアムへとつなげる